

生活支援技術Ⅲ

担当教員 馬場 敏彰、吉岡 久美

配当年次 2年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

1. 生活支援の考え方について考えることができる。
2. 自立支援の観点から、身じたく・移動・食事・排泄にかかわる基本的な態度と方法について学び、演習を通じて具体的な方法について理解を深めることができる。
3. 利用者体験を通して、利用者の気持ちを考えることができる。

【授業の展開計画】

科目担当者実務経験

馬場：介護福祉士として病院勤務経験・在宅支援勤務経験、介護福祉士養成校教員 他

吉岡：大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）、介護福祉士養成校教員 他

※排泄・入浴介護の演習時は、吉岡先生に入ってもらいます。

週	授業の内容	週	授業の内容
1	身じたくの意義と目的	16	状態状況別留意点〈上方・水平移動等演習〉
2	身じたくに関する利用者のアセスメント	17	状態状況別留意点〈仰臥位から側臥位等〉
3	生活習慣と装いの楽しみを支える介護	18	状態状況別留意点〈起居から端座位等演習〉
4	整容行動、衣生活を調整するアセスメント	19	状態状況別留意点〈端座位から立位等演習〉
5	身じたくの介助の留意点(洗面)	20	利用者の状態と状況に応じた移動介護の方法
6	身じたくの介助(整髪)	21	食事の意義・目的
7	身じたくの介助(髭剃り他)	22	食事介護の留意点
8	身じたくの介助(爪切り他)	23	利用者の状態・状況に応じた食事介助の留意
9	身じたくの介助(口腔ケア)見守り一部介助	24	利用者の状態・状況に応じた食事介助の留意
10	身じたくの介助(口腔ケア他)全介助	25	排泄介護の意義と目的(気持ちよい排泄)
11	身じたくの介助(衣服着脱介護他)一部介助	26	排泄介護の留意点(安全・的確な排泄介助)
12	身じたくの介助(衣服着脱介護他)全介助	27	排泄介助の状態状況別留意点〈見守り〉
13	移動の意義と目的	28	排泄介助の状態状況別留意点〈一部介助〉
14	移動に関する利用者のアセスメント	29	排泄介助の状態状況別留意点〈全介助〉
15	状態状況別留意点〈上方・水平移動等演習〉	30	入浴に関するアセスメントの視点と方法

【履修上の注意事項】

演習では、決められた服装等を準備すること。

事前学習として、単元のテキストを読み、疑問や質問を明確にしておくこと。(30分)

事後学習として、講義中のノート・学びをまとめること。指示された課題に取り組むこと。(30分)

【評価方法】

期末試験60%、実技試験20%、課題提出10% 講義における積極性10%

【テキスト】

『生活支援技術II』中央法規 最新版

【参考文献】

適宜提示する。